

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	入所者の高齢化に伴い全員で地域の行事に参加したり、外出行事が少なく少なくなっている。また、職員の離職等で余裕のある職員配置が出来ていない現状がある。	自治会や地域の行事に参加して、地域との交流を深める。	地域の方と顔見知りになれるように、天候の良い日など利用者さんと馴染みの場所を散歩を行って、挨拶を行う。また、施設内の行事の紹介や参加を声かける。職員一人一人が心がける。	12ヶ月
2	2	本人、家族の意向を反映した介護計画の作成が出来ていない。	本人、家族の意向を組み入れた介護計画となるように、職員間の情報交換、情報の共有を行う。	日頃より本人、家族とお話ができるような雰囲気づくりを行い、職員一人一人に情報が伝わるように確認を行う。	6ヶ月
3	3	虐待の防止や権利擁護に関する研修の充実が必要研修を通じて幅広い知識と認識の充実を行う。	内部、外部研修の参加の機会を増やして、日々の実践に活かして意識を高める。	各研修会の案内のチェックを行い、職員に研修会の案内や、勤務調整を行って研修会の参加の機会を増やす、また、研修会参加者は発表を行い、職員全体で勉強を行う。職員会議等の時間を活用する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。